

エ. 人材支援委員会**(1) 人材支援担当者のネットワーク構築**

委員会の機能として、会員機関で連携して取り組むべき課題への対応に向け、各機関の人材支援担当者の交流及び情報交換を促進するため、担当者ネットワークの構築について、その必要性を含めて検討を行う。

方針(案)

- つくばには、人材支援にかかる既存のネットワーク（ダイバーシティサポートオフィス（DSO）や筑波女性研究者支援協議会など）が存在しており、これらの機能と重複することから、筑協として人材支援担当者間のネットワークを新たに構築する必要性は低いとの結論に至った。しかしながら、今後、ネットワーク構築のニーズが出てきた場合には、その必要性を含めて検討していくこととする。

(2) 委員会のオープン化の推進

委員機関以外の人材支援担当者への委員会の傍聴機会の提供、委員会資料や議事録の公開など、委員会のオープン化の推進に取り組む。

方針(案)

- 筑協委員会の方針に準じて取り組む。

(3) 人材の育成や活用に関する取組や課題の共有等

各タスクフォース（若手人材育成、グローバル人材育成、女性研究者育成、シニア人材活用）の取組や筑協求人情報掲載システムについて、各会員機関における人材の育成や活用に資するため、その枠組みのあり方や会員機関への情報提供等について検討を行う。

また、人材の育成や活用に関して、各会員機関が独自に取り組んでいる活動や課題等について、情報共有等に向けて検討を行う。

方針(案)

- 筑波研究学園都市に初めて赴任する研究者等を対象として、筑波研究学園都市の概要、所在する機関の位置関係、共用施設、生活マップ、研究コミュニティなどの研究生活に主眼を置いた有用な情報の紹介を目的とした研修プログラムや研修用資料の作成について、その実現の可能性を含めて検討を進めていく。また、シニア人材向けのセカンドキャリアに関する研修の充実などの会員機関に共通するニーズについて、その対応を検討する。
- なお、タスクフォースという枠組みによる活動はその役割を終えたことから、タスクフォースは廃止するが、各機関における人材の育成や支援に関する活動に関する情報共有や意見交換については引き続き実施し、他の会員機関への情報共有の必要性や方法について検討していく。

(4) 県・市等が実施するつくばコミュニケの実現に係る取組への支援

G7茨城・つくば科学技術大臣会合の成果であるつくばコミュニケに関連して県・市・研究機関等などが実施するイベント等について、筑協のネットワークを活用した支援などについて検討を行う。

方針(案)

- 茨城県、つくば市、研究機関等が実施するイベント等における展示や交流会などの実施について、関係機関との調整を支援。今後においても、主催者の要望に応じ、筑協のネットワークを活用し積極的に支援していく。

《その他、活動状況》

- 人材育成ロードマップに基づく各施策の取組の推進、情報共有、意見交換
 - 委員会開催により、各タスクフォースの取組状況・課題等の共有、意見交換を実施。
- 人材支援に関する取組みの情報共有
 - 委員会開催により、各機関の特色ある取組、つくばコミュニケに関する取組などについて情報共有、意見交換を実施。